

◎企画振興部長（高田隆君）

R P Aの導入を検討してはどうかについての御質問にお答えいたします。

R P Aはパソコンのキーボードやマウスの操作で行う定型的な業務をロボットソフトを組み込んだパソコンが自動的に行うものであり、議員御提案のとおり、業務の効率化や労働時間の削減には有効であると考えております。

本市におきましては、昨年度から定型業務の効率化を図るため、職員に対してのデモンストレーションを行うとともに、R P Aの活用が見込める業務を全庁的に調査し、75業務をリストアップしたところであります。昨年度は、給与事務と国民健康保険事務の2業務において、実証実験を実施いたしました。今年度は、さらに市民税関係の3業務において、実証実験を行ったところであります。

実証実験の結果としましては、職員の業務時間を1業務当たり平均で年間約44時間削減することが可能であるとの結果を得ており、より多くの業務に導入することで、さらに大きな効果が期待できるものと考えております。これらの結果を踏まえ、新年度からは実証実験を行った業務を含め、可能な分野からR P Aを導入することとしております。

また、一部の業務におきましては、手書きで提出された申請書等を読み取ってデータ化するA I文字認識サービスと組み合わせての活用も考えており、新設のI C T推進室におきまして、今後、導入についてそれぞれ業務担当課と調査研究を行ってまいりたいと考えております。

以上であります。